

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

フタル酸ジトリデシルのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

7 B 7 6 1 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： フタル酸ジトリデシル
- 2)暴露方式： 半止水式（週に3回，試験液の全量を交換）
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 21日間
- 5)試験濃度(設定値)： 対照区，助剤対照区，10.0 mg/L（試験可能上限濃度）  
（助剤濃度一定：40mg/L，HCO-40 および DMF使用）
- 6)試験液量： 1 容器（連）につき 80 mL
- 7)連数： 10容器（連）／濃度区
- 8)供試生物数：10頭／濃度区（1連につき1頭）
- 9)試験温度： 20±1℃
- 10)照明： 16時間明／8時間暗
- 11)被験物質の分析：HPLC法

## 結 果

### 1)試験液中の被験物質濃度

暴露期間中に測定した試験液の被験物質濃度が，設定値の±20%以内であったため，各影響濃度の算出には設定値を採用した。

### 2)21 日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :

>10.0 mg/L

### 3)21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (EC50) :

>10.0 mg/L

### 4)21 日間の最大無作用濃度(NOEC) :

>10.0 mg/L

### 5)21 日間の最小作用濃度(LOEC) :

>10.0 mg/L